区報ぶんきょう
発行／文京区　編集／オリンピック・パラリンピック担当　代表 ☎(3812)7111
〒112-8555　文京区春日 1-16-21　http://www.city.bunkyo.lg.jp/

教育プログラム
［よういい、ドン！］

オリンピック・パラリンピック こども新聞

第５号
平成 31 年(2019)
1/23

２面
・嘉納治五郎師範とオリンピック

３面
・女子サッカーカンファレンスとなでしこジャパン
・東京ガス「片手でクッキング」体験会

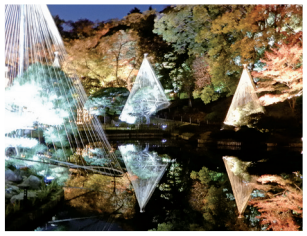
４面
・ラグビーワールドカップ１年前記念イベント
・パラリンピック２年前イベント

５面
・スポーツとボーカロイドミュージック
・こころのバリアフリー

オリンピックがつなぐ縁（えにし）

11月22日(木)、肥後細川庭園松聲閣(ひごほそかわていえんしょうせいかく)の「秋の紅葉ライトアップ～ひごあかり～」を取材しました。

取材協力：熊本県・玉名（たまな）市



金栗さんはマラソン足袋（たび）で走った

竹を使った美しいあかり

文京区立肥後細川庭園（文京区目白台1-1-22）は、肥後熊本藩五十四万石の大名・細川家の下屋敷跡であり、文京区と熊本県、熊本市は文化的な結びつきから平成27年に覚書を締結し以後様々な取り組みを行っています。今回は竹あかりによるライトアップのほか復興支援イベントも同時開催されました。

©2010熊本県　くまモン　協力　銀座熊本館

～竹あかりのライトアップ～

全国各地でその風景を生かした「竹あかり」を灯（とも）しつづけている「CHIKAKEN（ちかけん）」さんによるオブジェが庭園を彩（いろど）ります。

文京区と熊本がコラボをし、なんと会場には熊本県のPRキャラクター「くまモン」が来ました。くまモンがTシャツを着て来た時、熊本県が作った「金栗（かなくり）Tシャツ」を着ていました。とても可愛かったです。ライトアップでは、水面（みなも）に映し出される紅葉（もみじ）の姿がとてもきれいでした。ぜひみなさんも一度は見てはいかがでしょうか。

（小５／Ｍ・Ｏ記者）

金栗（かなくり）さんのことを知っていますか？

金栗四三（かなくりしそう）さんは、明治24年に生まれました。明治45年のオリンピックに「JAPAN」ではなく、「NIPPON」という表記（ひょうき）で参加した1人です。7月の第5回オリンピック・ストックホルム大会マラソンに日本人初の出場で、暑さのため26・7キロ地点で棄権（きけん）してしまいました。

その後、昭和42年（1967年）3月にオリンピックストックホルム大会開催55周年記念式典に招待され、スウェーデンを訪問し、「棄権」ではなく「行方不明（ゆくえふめい）」となっていたため、スウェーデンオリンピック委員会の計らいにより、54年ぶりにゴールをはたしました。75歳でした。そして92歳（昭和58年）で他界（たかい）されました。

取材させていただいた玉名市の松田課長は金栗さんとは同じ高校であったらしく、高校の先輩だそうです。金栗さんの銅像を見て知ったらしく、「すばらしい、尊敬できる先輩」だそうです。

（小５／Ｃ・Ｋ記者）

体力！氣力！努力！

「日本マラソンの父」と呼ばれる金栗四三さんについて取材しました。大河ドラマ「いだてん」の主人公でもあります。ストックホルムオリンピックは棄権しましたが行方不明扱いとされたため、記録が「54年8ヵ月6日5時間32分20秒」となってしまった苦労もありましたが、「グリコ」のマークのモデルや、箱根駅伝の創設など現在にも受け継がれる事や世界記録（当時）を樹立（じゅりつ）した人です。大河ドラマが楽しみです。（小５／Ｙ・Ｋ記者）

玉名の誇り！同田貫（どうだぬき）

江戸時代の平和な世でも実用刀として使われてきた刀「同田貫」を見せていただきました。同田貫とは今回熊本県の広報のために肥後細川庭園に来た熊本県玉名市で刀を作っているグループの名前です。最初にもあるように戦いがなかった江戸時代でも、見るためではなく訓練をするために作られていたほど良い刀だそうです。（小５／Ｙ・Ｋ記者）

人々を育（はぐく）み続けた教育者たち

近代オリンピックの父といわれるクーベルタンをはじめ、アジア初のIOC委員として東京開催に尽力した嘉納治五郎（かのうじごろう）。嘉納治五郎とともに、選手としてマラソンに参加した金栗四三（東京高等師範学校在籍）は共に教育者でした。

嘉納治五郎

嘉納治五郎と金栗四三は東京高等師範学校（現筑波大学）で、当時を過ごしており、その青春時代が舞台の一つの大河（たいが）ドラマ「いだてん」が2019年1月よりスタートします。

文京区では東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、文京の地からその熱量（ねつりょう）の発信を目指し、様々なプログラムを展開していきます。

「大河ドラマ『いだてん』主人公 金栗四三の青春の地・文京区」プロジェクト

スタンプラリー
【会期】2019年1月23日（水）～5月17日（金）
【概要】金栗四三が東京高等師範学校への通学時に利用したであろうルート周辺の施設等7か所を、文京区観光アプリを活用して巡るスタンプラリー

企画展
【会期】2019年3月23日（土）～3月28日（木）
【会場】文京シビックセンター１階　ギャラリーシビック
【概要】金栗四三や嘉納治五郎が活躍した時代をVR映像やエピソードを交え紹介する企画展
※文京区ふるさと歴史館でも4月13日（土）～5月12日（日）まで展示を実施。

トークショー
【会期】2019年3月23日（土）
【会場】文京学院大学
【概要】中村勘九郎氏（金栗四三役）、生田斗真氏（三島弥彦役）によるトークイベント

※各事業の内容は、1月25日発行の区報ぶんきょう１面に募集内容を含め掲載します。

◎文京区オリンピック・パラリンピックこども新聞は、こども達が記者となって取材や写真撮影に取り組み、みなさまにお届けする新聞です。